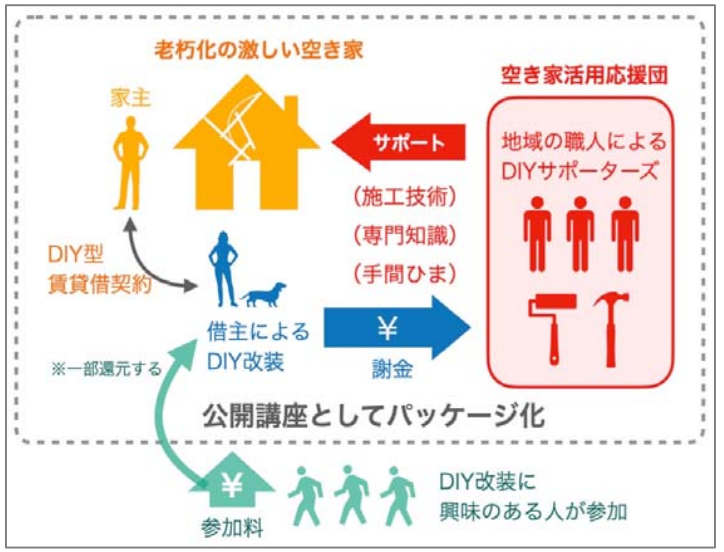
「DIYサポート型賃貸スキーム」構築による劣化の著しい空き家の流通促進事業（津屋崎空き家活用応援団）

課題	劣化の著しい空き家はコストが嵩むため活用されない。
目的	借主によるDIY改修型賃貸の普及
取組内容	DIYサポーターズの結成・DIYサポート型賃貸のスキーム構築
成果	・DIYサポート型賃貸スキームによる活用を3物件で実施 ・空き家調査とデータ化　・空き家対策のセミナー実施

【DIYサポート型賃貸スキームの構築】

○ 地域の大工等の職人と連携して、DIYサポーターズを結成し、老朽化の著しい空き家を借主がDIYで住めるように改修する作業をサポートする。



【DIY講座の開催】

○ DIYサポーターズが支援する改修工事は公開講座として受講者を募集し、受講者からは参加料を徴収する。参加料はDIYサポーターズの講師料に補てんすることで、例えば、
講師料15,000円/半日 －（DIY公開講座の参加料3,000円×5人=15,000円）
= 実質派遣料が無料になるという仕組みとした。

【評価と課題】

○ コロナ禍による影響で、DIY講座は限定的な実施となった。

【今後の展開】

○ コロナ禍収束後に向けたDIY講座の準備・実施
○ 空き家活用の成功事例の発信（HPやチラシ）➡空き家所有者の活用動機付け
○ 不要な家財道具や解体時の古材の流通の仕組み



